【商業科・事務情報科】　２年次　【選択】科目　「電子商取引」授業のシラバス

１　概要

教科名	商業	科目名	電子商取引	単位数（コマ数）	３（１１７）
科目の目標	情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。				
教科書（出版社）	電子商取引（実教出版）	副教材（出版社）			

２　学習の方法

(1)　予習について

教科書の内容については、事前に取り組んだ方が良いと思います。先生の指示に従ってください。

(2)　授業について

毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。

先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使用するファイルは「プラスチックの赤（ピンク）」です。

コンピュータを使用しての実習が多くなりますので、早めに教室移動して準備をしてください。

(3)　復習について

教科書やノート、プリント等で、その日にやった内容を確認しておくと良いと思います。疑問点や分からない点は、教員や友人に聞いて、早めに解決しておきましょう。

放課後や昼休みにはパソコン教室の使用を許可し開放しますので、自ら進んで復習に取り組んでください。

〈学習アドバイス〉
実際にウェブページを制作します。日々の授業内容をきちんと理解しておくことが大切です。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣旨
①　関心・意欲・態度	情報通信ネットワークを活用した諸課題について、関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、電子商取引に応用する能力を身につけている。
②　思考・判断・表現	情報通信ネットワークを活用した諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報通信ネットワークの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
③　技能	情報通信ネットワークに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、諸課題に対して適切な対応を合理的に計画し、その技術を活用している。
④　知識・理解	情報通信ネットワークに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、諸課題について理解している。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料／観　点	割合	定期考査・確認テスト		ノートプリント	発言発表	グループワーク	課題	作品
①　関心・意欲・態度	１０％	○	その分野が日常生活にどのように生かされているかを問うことがあります。	○	○	○	◎	◎
②　思考・判断・表現	２５％	◎	ビジネスにおける情報通信ネットワーク活用の実際を、広告・広報や商取引の意義をふまえて考察し、的確に表現できるか。		○	○		◎
③　技能	４０％	◎	教科書、教科書章末問題、プリント、実習				○	◎
④　知識・理解	２５％	◎	教科書、教科書章末問題、プリント			○		◎

〈担当者からのメッセージ〉
●卒業後、社会の即戦力になれるよう、情報通信ネットワークに関するスキルを身につけてください。
●３年次の「発展電子商取引」につながる科目です。基礎をしっかりと身につけておきましょう。

【商業科・事務情報科】　２年次　【選択】科目　「電子商取引」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	１章　情報通信技術の進歩とビジネス １節　ビジネスの変化	9	1　ビジネスの形態 2　ビジネスの広告･広報活動	①	1章 情報通信ネットワークを活用したビジネスの形態の変化や情報通信ネットワークについて関心を持ち、ビジネスの諸活動に活用することを目指して、主体的に学習に取り組むとともに、情報通信技術の進歩をビジネスの諸活動に応用する能力と態度を身につけている。	
5	２節　情報通信ネットワークの活用と課題	12	1　企業の役割と業務 2　個人情報と知的財産権の保護	②	ビジネスの諸活動に活用する際の課題の取り扱いについて思考を深め、基礎的・基本的な知識を活用して、情報通信ネットワークを活用したビジネスの形態の変化を適切に判断し、的確に表現することができる。	
6	２章　コンテンツの制作 １節　ファイル形式	9	1　図形ファイルの形式 2　静止画ファイルの形式 3　動画ファイルの形式 4　音声ファイルの形式	④	情報通信ネットワークを活用したビジネスの形態の変化や情報通信ネットワークについて、基礎的・基本的な知識を身につけ、情報通信技術の進歩がビジネスの諸活動に及ぼす影響理解している。	前期中間考査
7	２節　図形	12	1　基本図形の取り込みと編集 2　組織図の取り込みと編集 3　グラフの取り込みと編集	①	2章 ファイル形式、図形、画像、音声の取得、作成、編集及び情報の取り扱いについて関心を持ち、主体的に学習に取り組むとともに、情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に各種コンテンツを活用する能力と態度を身につけている。	
8	３節　静止画	6	1　静止画の取り込み 2　静止画の編集	③	ファイル形式、図形、画像、音声の取得、作成、編集及び情報の取り扱いについて、基礎的・基本的な技術を身につけ、情報通信ネットワークを活用した商取引などに活用することができる。	
	４節　動画		1　動画の取り込み 2　動画の編集	④	ファイル形式、図形、画像、音声の取得、作成、編集及び情報の取り扱いについて、基礎的・基本的な知識を身につけ、情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に各種コンテンツを活用することができる。	夏季休業明け確認テスト
	５節　音声		音声の取り込み			
	６節　情報の統合		統合の方法、手順、技法と活用			
9	３章　ウェブデザインと広告・広報 １節　ウェブページ制作までの手順	9	1　分析と企画・立案 2　制作の手順と方法	①	3章 ウェブページ制作について関心を持ち、利用者の立場に立ったウェブページ制作を目指して、主体的に取り組んでいる。	前期期末考査
10	２節　ウェブデザイン設計	15	1　ウェブデザインの基礎 2　配色 3　フォント 4　ロゴデザイン	②	ウェブページの制作に必要なデザインや技法について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ウェブページを活用して広告や広報を行うために適切に判断し、表現することができる。	
	３節　ウェブページ制作の基礎			③	ウェブページ制作について、基礎的・基本的な技術を身につけ、ウェブページを制作するための配色や構成、デザインを活用することができる。	
11		15	1　タグの直接入力による制作 2　ウェブページ作成ソフトウェアによる制作 3　ワープロソフトウェアによる制作	④	ウェブページ制作について、基礎的・基本的な知識を身につけ、ウェブページを活用して広告や広報を行うためのデザインや技法を理解している。	
	４節　ウェブページ制作の応用					
12		9	1　CMSの利用 2　CMSによるウェブサイトの構築例			後期中間考査
	４章　ウェブページの公開 １節　ネットワーク機器の種類と機能			①	4章 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報について関心を持ち、ウェブページの公開を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。	
1	２節　公開の方法	6	1　公開に用いられるネットワーク技術 2　公開に用いられるネットワーク機器と通信回線	②	ハードウェアとソフトウェアについて思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、ネットワーク機器の種類や機能を適切に判断することができる。	
				③	情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報について、基礎的・基本的な技術を身につけ、商取引や広告や広報を行うウェブページ公開することができる。	冬季休業明け確認テスト
			1　公開のしくみ 2　公開 3　独自サーバの導入	④	情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報について、基礎的・基本的な知識を身につけ、情報通信ネットワークを構築する方法及びウェブページを公開する方法を理解している。	
2	５章　電子商取引とビジネス １節　電子商取引のしくみ	9	1　電子商取引の概要 2　電子商取引に関する法規 3　電子商取引を行うための手順	①	5章 電子商取引について関心を持ち、電子商取引システムの作成を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。	
	２節　企業間取引と企業対消費者間取引		1　企業間取引 2　企業対消費者間取引 3　情報通信ネットワークを活用したその他のビジネス	②	情報通信ネットワークを活用した企業間取引と企業･消費者間取引の具体的な事例について思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、関係法規やモラルを適切に判断し、ウェブページを作成することができる。	後期期末考査または作品制作
3	３節　電子決済のしくみと方法	6		③	電子商取引について、基礎的・基本的な技術を身につけ、模擬的な電子商取引のシステムを構築することができる。	
	４節　電子商取引システムの作成		1　電子決済のしくみ 2　電子商取引における決済方法	④	電子商取引に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、情報通信技術を電子商取引に応用し、ビジネスの諸活動を行うことができる。	
			1　電子商取引のシステム構築(1) 2　ショッピングカート 3　実際の取引(1) 4　受注管理(1) 5　電子商取引のシステム構築(2) 6　実際の取引(2) 7　受注管理(2)			
		計 117				

※　観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。